



気付きから始まる
男女共同参画

男女共同参画

参画
トーク
No. 4

市内で、男女共同参画推進活動を積極的に展開している団体を紹介していきます。

男女共同参画推進に欠かせない市民パワー

①「男女共同参画サポーター」

男女共同参画サポーターは、男女共同参画に興味や関心を持ち、県が行う養成講座で学習した皆さんです。

現在、市内には42人のサポーターがいます。サポーターの皆さんは、男女共同参画を進めるための研修会の開催や市の事業への提案、運営の協力などに、そ

れぞれの地域で意欲的な活動を展開しています。特に、私たちの普段の生活から身近なテーマを選び、何気ない一言・行動の中から男女共同参画について気付かせる寸劇が好評です。

▽サポーターになるには？

毎年4月に県が募集する男女共同参画養成講座を受講していただく



11月24日の男女共同参画講演会で、寸劇「妻の栄転、婿の憂う」の上演や運営スタッフとして参加した皆さん

きます。どなたでも応募できますが市の推薦が必要です。地域のリーダーとして活動して下さる意欲ある人を推薦しています。

男女共同参画講演会に750人

フジテレビアナウンサーの笠井信輔さんを講師に迎え、市男女共同参画講演会が11月24日、一関文化センター大ホールで開催されました。

笠井さんは、「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」と題し、夫婦ともテレビ局で働き多忙を極める中で3人の子どもを育てている日ごろの生活ぶりなどを紹介。息子さんの出産に



豊かな内容と巧みな話術で子育てについて語り、会場を沸かせた笠井さん

すべて立ち会い、PTA行事にも積極的に参加してきたという笠井さんは「忙しい中にも、父親として何とかしなくてはいけないと考えるながら育児に取り組んできた。子どもは両親で育てるものという意識を妻の側から夫に積極的に働きかけるべきなど」とユーモアたっぷりに語りかけ、約750人の聴衆を引き付けました。

水道事業評価

「事業の実施」3件を決定 「見直し継続」1件

市は、簡易水道事業の実施に当たり、採択前の事業を対象に事前評価を、採択後は5年ごとに再評価を行っています。

このたび、▽興田・猿沢簡易水道事業(簡易水道再編推進事業)と田河津簡易水道事業(水道未普及地域解消事業、生活基盤近代化事業)についての事前評価▽真滝・弥栄簡易水道事業(水道未普及地域解消事業)についての再評価をそれぞれ行いました。その結果、それぞれの事業について合理的な理由があることから、事業を実施、継続することと評価しました(結果の詳細については、市ホームページに掲載しています)。

期的に整備した方が、無駄が省けるのではないかと「できるだけ早く整備すべきだ」「住民にとって良いことなので、再度説明会を行って周知してほしい」「個人が行う給水装置工事の費用について、貸付制度などはあるのか」などの質問や意見が出され、最後に二階堂委員長から「評価は妥当であり、興田・猿沢簡易水道と田河津簡易水道に係る3件の事業は『事業の実施』、真滝・弥栄簡易水道事業は『事業計画など』の見直しを行い、『事業の継続』とする」と意見を集約しました。

市ではこれらの意見を踏まえ、事業を実施していきます。

市では19年度、給水装置設置資金融資あっせん・利子補給補助金制度を定めました。簡易水道施設整備済みの区域内でまだ給水していない皆さんは、制度の活用も検討いただき、水道の普及に協力をお願いします。

◎問い合わせ先
本庁簡易水道課工務係
☎08572

「たまご湯」

地域おこし活動に二重の栄誉

総務大臣表彰 千厩町第10区自治会

千厩町の第10区自治会「遠藤敏男会長・会員67世帯」は、地元「鉱泉(通称・たまご湯)」を活用した地域づくりへの取り組みと行政への積極的な参画が評価され、地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰を受賞しました。

11月22日、遠藤会長とたまご湯運営委員長の遠藤孝志さんが市役所に浅井市長を訪れ、受賞を報告しました。浅井市長は「自分たちの手で地域おこしを行っている皆さんは大変素晴らしい。全国にも誇るべき活動です。これからも頑張ってください」と受賞を祝福。遠藤会長は「鉱泉の所有者である海田茂さんのご好

日本善行会秋季善行表彰 海田茂さん

「たまご湯」に使われている鉱泉の所有者、海田茂さん(78)は千厩町小梨IIは、長年にわたる明るく住みよい環境づくりへの尽力により、(社)日本善行会から19年度秋季善行表彰を受賞しました。



秋季善行表彰に輝いた海田さん

明治20年代に発見された鉱泉を「地域で使ってもらえれば」と考えていた海田さんは、第10区自治会からの「地域おこしに活用させてほしい」との申し出を快諾。これきっかけに平成11年、現在の「たまご湯」につながる同自治会の地域おこし活動がスタートしました。

11月22日、市役所に浅井市長を訪れ受賞を報告した海田さん

「まさかと思っていた受賞ですが、振り返ってみれば地域のお役に立ってきたのかなと思います。10区の人たちが結束してここまで運営してきた、その代表としていただいた賞。これからも長く続けていかなければと思っています」と語り、浅井市長の祝福を受けました。

いと一生懸命やってきました。『このお湯は肌がつるつるになる』などの声も聞かれ、何度も来てくれる人がいて励みになっています」とそれぞれ語り、受賞の喜びをかみしめていました。同自治会は昨年度も「あしたのまち・くらしづくり活動賞振興奨励賞」を受賞しています。

加藤はつのお二人



加藤はつさんは11月11日、自宅で満100歳を迎えました。祝福に訪れた小山地域自治区長が祝状と記念品、花束を手渡

すと、はつさんは「自分一人では生きられない。家族と生活できる喜びを感じている」と笑顔で話しました。

お元気に満100歳 室根町のお二人

小野ふよのさんは11月24日、自宅で満100歳を迎えました。家族や親戚などが祝う中、訪れた小山地域自治区長は「おめ

でとうございます。これからも元気で過ごしてください」と祝状と記念品、花束を手渡し長寿を祝福しました。

ふよのさんは昭和5年に故養吾さんと結婚。三男一女をもうけ、現在は長男夫婦と孫の4人で元気に過ごしています。

芯が強く、まじめな性格というふよのさん。80代後半まで加入していた老人クラブでの運動会や小旅行などが良い思い出。好き嫌いをせず何でも食べるのが長生きの秘けつという元氣な、ふよのさんです。

小野ふよのさん



＝室根町津谷川＝